

マル 健診○得情報 健診を受けましょう



☎ 役場健康づくり推進課 健康増進係(保健福祉センターはぴねす内) ☎ 234-6123

○得1 健康第一

生活習慣病は自覚症状がないまま進行します。からだの異常は早めに見つけましょう。

○得2 格安の料金で安心

健診費用の約7～9割を町が負担。格安で受診できます。

○得3 家計の負担が減る

生活習慣病になると毎月の医療費がかさむことに加え、仕事への影響もでてきます。病気を予防することで負担を減らすことができます。

■ 4月上旬発送の健診申込書でお申し込みください

健診名	対象年齢	自己負担額	内 容
子宮がん検診	20歳以上	1,700円	子宮頸がん検診
乳がん検診	30歳以上	1,500円	30歳代：超音波、視触診 40歳代：マンモグラフィー、視触診
大腸がん検診	40歳以上	500円	便潜血検査
特定健診	20歳以上	800円	生活習慣病予防のための検査、右表参照
ましき健診	40歳以上	男性 4,500円 女性 6,000円	特定健診とがん検診をセットにした健診

※各種がん検診は加入保険にかかわらず受診ができます。

※特定健診、ましき健診は40歳以上で社会保険などの被扶養者は受診券が必要です。
また、自己負担額は加入保険により異なります。(社会保険などに加入している本人は受診できません)

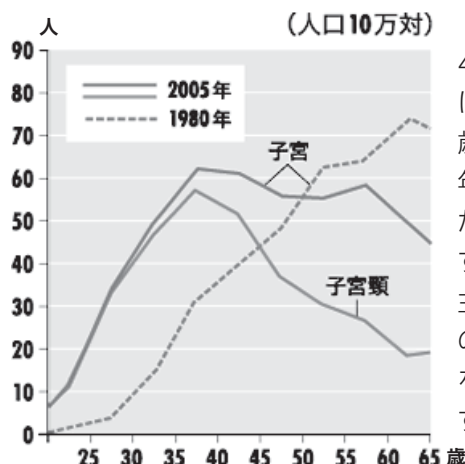
■ 働きざかりの女性に増えているがん

現役世代では、女性のがん罹患率数は男性を大きく上回ります。
20歳代では男性の約1.6倍、30歳代では男性の約3倍に増えています。

年齢階級別がん罹患率推移(1980年、2005年)

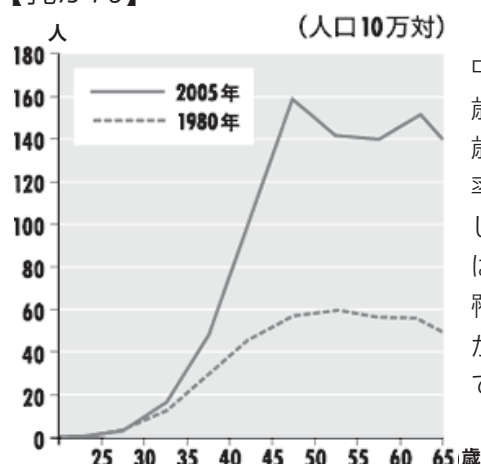
出典：財団法人がん研究振興財団「がんの統計'10」

【子宮がん】



40歳代後半を境に、20歳～40歳代前半の若い年齢層で罹患率が増加しています。この変化は主に子宮頸がんの罹患率の変化を反映しています。

【乳がん】



中高年、特に40歳代後半～60歳代前半で罹患率が大きく増加し、2005年にはこの年齢層の罹患率のピークが明らかになっています。

800円の特健健診でここまでわかる！

検査項目	わかること	
身長	体格 内臓脂肪の蓄積	動脈硬化の危険因子
体重		
BMI		
腹囲		
GOT	肝機能	
GPT		
γ GTP		
血圧	血管の傷み	
尿酸		
中性脂肪	脂質異常	
HDL コレステロール		
LDL コレステロール		
血糖	糖尿病	
HbA1c		
尿糖		
クレアチニン	腎	
尿蛋白		
眼底検査	脳	
心電図	心臓	